

マッド・アマノ氏 講演会

「宗教冒涇でも諷刺漫画は許されるのか？」

世界ではグローバル化の進展とは裏腹に、特定の理念や価値観、経済的格差を背景にした争いや対立が後を絶たず、分裂の様相さえ強めています。国内に目を転じると「1強状態」ともいわれる政治情勢を受け、権力を監視することの重要性が問われてもいます。こんな時代だからこそ、既成の権力や価値観と対峙してきたパロディストのマッド・アマノさんに諷刺の神髄を語ってもらい、今の世相を思う存分に斬っていただきます。

定員
120人
聴講無料



まっど・あまの

本名・天野正之。1939年東京生まれ。東京芸大卒。写真週刊誌「FOCUS」に創刊から休刊までの20年間、約1000回のパロディー作品を連載した。東京新聞「本音のコラム」を執筆。著書に「謝罪の品格」「原発のカラクリ」など。「風刺が冒涇か」をテーマに表現の本質を訴える。十勝毎日新聞時評・エッセー「耕土興論」の執筆者。

日時／ 2016年9月14日(水)
15:00～(90分程度です)

会場／ 帯広信用金庫
中央支店セミナールーム
(帯広市西3条南14丁目)

※支店駐車場は同庫利用者優先です。
ご利用はできません。
最寄りの駐車場をご利用ください。

聴講するには整理券が必要です。

【整理券配布場所】

- 十勝毎日新聞社1階受付(帯広市東1条南8-2)
- 勝毎サロン(藤丸7階)
- かちまいアカデミー(長崎屋帯広店4階)

主催／

 十勝毎日新聞社

帯広市東1条南8丁目2番地

整理券に関する問合せ：事務局 ☎0155・22・7555

その他の問合せ／編集局(0155・22・2121)